「2026年度 道内中小企業・小規模事業者における業況調査」調査票

1．ご回答は、５月１４日（木）までに右の二次元バーコードを読み取っていただくか、当センターのHPからオンラインフォームに進んでいただき、ご回答下さい。（メールまたはFAXでもご回答いただけます。）

2．本調査で収集した情報について、データ集計及び当センターの運営や道への施策提案等の必要な業務に限り利用いたします。企業名が特定されるような個々のデータを公表することはありません。

3．収集した個人情報（企業名、所在地、回答者所属・役職・氏名、電話番号、メールアドレス等）について、ご本人の同意がある場合や法令に基づく場合を除き、第三者に情報を提供することはございません。

≪本調査に関するお問い合わせ≫　公益財団法人北海道中小企業総合支援センター 経営支援部　加藤
電話：011-232-2402　FAX：011-232-2011　Email:keieishien@hsc.or.jp　URL：https://www.hsc.or.jp/

Ⅰ．企業概要

事業者名				所在地（市町村名）	
回答者	所属・役職		電話番号	（　　）　　－	
	氏名		E-mail		

☐メールマガジンの配信を希望する

[問1] 業種（主要なもの１つに○印をつけてください）
1．建設業　2．製造業（食品製造業）　3．製造業（食品製造業以外）　4．卸・小売業　5．運輸・倉庫業
6．情報通信　7．サービス業　8．その他（　　）

[問2] 従業員数（該当するもの１つに○印をつけてください）
1．５人以下　2．6~20人　3．21~50人　4．51~100人　5．101~300人　6．300人超

[問3] 資本金（該当するもの１つに○印をつけてください）
1．１千万円以下　2．１千万円超~５千万円以下　3．５千万円超~１億円以下
4．１億円超~３億円以下　5．３億円超　6．なし（個人事業主）

Ⅱ．企業概況

(1) 業況、売上高、営業利益

貴社における状況ついて、選択肢からそれぞれ１つ選んで○印をつけてください。

項目	期	選択肢				
業況（業界全体の様子）	前期	1．好転した	2．やや好転した	3．変わらない	4．やや悪化した	5．悪化した
	今期	1．好転する	2．やや好転する	3．変わらない	4．やや悪化する	5．悪化する
売上高	前期	1．増加した	2．やや増加した	3．横ばい	4．やや減少した	5．減少した
	今期	1．増加する	2．やや増加する	3．横ばい	4．やや減少する	5．減少する
営業利益	前期	1．増加した	2．やや増加した	3．横ばい	4．やや減少した	5．減少した
	今期	1．増加する	2．やや増加する	3．横ばい	4．やや減少する	5．減少する
	過去３年の傾向	1．増加傾向	2．やや増加傾向	3．横ばい	4．やや減少傾向	5．減少傾向

(2) 経営上の課題

現在、直面している経営上の課題について、該当するもの全てに○印をつけてください

【販売面】 1．受注・販売量の減少　2．受注・販売価格の低下　3．製造・仕入原価の上昇　4．営業力の低下
5．取引先・販路等の確保　6．在庫の負担増　7．コスト上昇分の価格転嫁　8．新分野への進出・新市場の開拓

【設備面】 1．設備の陳腐化・老朽化　2．設備能力の低さ　3．設備稼働率の低さ　4．過剰設備
5．設備不足

【資金面】 1．金利上昇による負担増　2．融資(ゼロゼロ融資等)の返済難　3．金融機関からの調達難　4．運転資金の不足
5．設備資金の不足　6．売掛金の回収難

【技術面】 1．生産コストの削減　2．生産性の向上　3．品質の向上　4．IT化・DXへの取組み
5．省エネ・省力化への取組　6．ISO・HACCP等の認証　7．知的財産の活用

その他［直面している経営上の課題］	記入例）コスト上昇の中でも特に○○の高騰の影響が大。コストの急騰により利益が確保できない。

（次頁へ続く）

Ⅲ. 人手不足について

[問1] 従業員の過不足感について、該当するもの１つに○印をつけてください。

1．不足　2．充足　3．過多

[問2] **問1**で「**1.不足**」を選んだ方のうち、要因と思われるもの全てに○印をつけてください。

1．条件に合う人材の応募なし　2．労働環境が厳しい(労働時間・転勤など)　3．給料・賞与の水準
4．中途退職・離職者が多い　5．資格や高度な技術が必要　6．高齢化による退職者の増加
7．業界自体の人気がない　8．自社の認知度が低い　9．過去の採用抑制
10．働き方改革に伴う実働時間の減少　11．その他（　　）

[問3] **問1**で「**1.不足**」を選んだ方のうち、人手不足が及ぼしている影響として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．従業員の残業時間や業務量の増加　2．受注量や生産量等の抑制　3．新商品開発等の抑制
4．サービス等（生産性）の縮小　5．人材育成機会の減少（技術ﾉｳﾊｳの伝承不足）　6．その他（　　）

[問4] 人手不足への対応として実施もしくは検討しているもの全てに○印をつけてください。

1．給料・賞与水準引き上げ　2．就業環境の改善(休日の増加など)　3．福利厚生の充実　4．設備導入やIT化による効率化
5．副業・兼業人材※の活用　6．業務の一部を外部委託　7．女性・高齢者の活用　8．障がいのある方の活用
9．定年延長や再雇用　10．外国人材の活用　11．その他（　　）

※「他社に所属して本業を持ちながら、職務や期間を限定して別の会社から仕事を請け負う個人のこと」

[問5] 人手不足への対応等に関して、副業・兼業人材の活用に関心はありますか。

1．関心がある　2．関心がない　3．既に活用している

[問6] **問5**で「**2.関心がない**」を選んだ方は、その理由として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．人手は足りている　2．従業員のみで業務を行いたい　3．副業・兼業に対するイメージが湧かない
4．副業・兼業人材のスキルに不安がある　5．副業・兼業人材の活用方法が解らない　6．副業・兼業人材では解決できない業務である
7．企業情報の漏洩が心配　8．従業員との人間関係が不安　9．費用負担が不安（仲介手数料・謝金等）
10．その他（　　）

Ⅳ. 賃上げへの対応について

[問7] 今期の賃上げについて、該当するもの全てに○印をつけてください。

1．ベースアップを実施(予定)　2．ボーナス・手当増加を実施(予定)　3．定期昇給を実施（予定）　4．見送る予定

[問8] **問7**で「**1.ベースアップを実施(予定)**」、「**2. ボーナス・手当増加を実施(予定)**」、「**3.定期昇給を実施(予定)**」を選んだ方のうち、実施もしくは検討している前期比の賃上げ率（年収換算）に○印をつけてください。

1．5.0%以上　2．4.0～5.0%未満　3．3.0～4.0%未満　4．2.0～3.0%未満　5．1.0～2.0%未満　6．1.0%未満

[問9] **問7**で「**1.ベースアップを実施(予定)**」、「**2. ボーナス・手当増加を実施(予定)**」、「**3.定期昇給を実施(予定)**」を選んだ方のうち、賃上げを実施する理由として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．物価上昇への対応　2．従業員のモチベーション向上、離職防止　3．新規人材確保
4．補助金や税制優遇等への対応　5．業績好調　6．同業他社の動向
7．政府の賃上げ方針への呼応　8．その他（　　）

[問10] **問7**で「**1.ベースアップを実施(予定)**」、「**2. ボーナス・手当増加を実施(予定)**」、「**3.定期昇給を実施(予定)**」を選んだ方のうち、賃上げ原資を確保するための取組として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．商品・サービス等の値上げ、価格適正化　2．販路拡大　3．従業員の能力向上・スキルアップ
4．経営合理化・経費の削減　5．設備導入やIT化による効率化　6．その他（　　）

[問11] **問7**で「**4.見送る予定**」を選んだ方のうち、賃上げを実施しない理由として該当するもの全てに○印をつけてください。

1．価格転嫁が追いつかないため　2．直近に賃上げを実施したため　3．諸物価高騰や金利上昇に伴う負担増
4．設備投資の強化　5．借入金の返済を優先　6．業績低迷
7．同業他社の動向　8．内部留保の増強　9．その他（　　）

Ⅴ. 生産性向上について

[問12] 生産性向上（収益力向上、人手不足対応など）の取組として実施したいと考えているもの全てに○印をつけてください。

1．作業・製造工程の見直し・改善　2．事務・管理業務の見直し・効率化　3．DX・ITツールの導入
4．AIの活用　5．商品・サービスの見直し　6．設備・機械の導入（具体的に　　）
7．外部リソースの活用　8．従業員のスキルアップ　9．その他（　　）

Ⅵ. ご意見等

[問13] 今後期待する支援内容や施策、その他ご意見等をご自由にご記入ください。

自由記述欄	記入例）人手不足で生産性向上と賃上げ財源確保が緊急課題であり、財源確保に向けた具体的な支援をいただきたい。

ご協力ありがとうございました。